

MP3ファイル作成時の留意点

MP3(エムピースリー)とは

MPEG Audio Layer-3の略称。MPEGはビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3は、MPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。

約10分の1に圧縮できるので、音楽CD約10枚分の音楽データをCD-R/RW1枚に書き込めます。(ビットレート128 kbps、サンプリング周波数 44.1 kHzで、容量 650 MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその数値)

音楽データをMP3ファイルにエンコード(変換)するときは

ビットレートは“128 kbps以上”の“固定”に設定してください。推奨

“MPEG-2のビットレート8 kbps”、“MPEG-2のサンプリング周波数16 kHz”で記録されたファイルは、再生できません。

可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。

再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。

詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。

ディスクにMP3ファイルを書き込むときは

MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。

多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

ISO 9660 フォーマットで書き込んでください。(下記参照)

APPLE HFS フォーマットには対応しておりません。

規格に準拠していない場合には、正常に再生されなかったり、フォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。

MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。

MP3以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合は、ファイルを再生できません。

“Disc at Once (ディスクアットワンス)”で書き込むことをお勧めします。(マルチセッションにも対応しています。)

データを書き込んだディスクは、必ずクローズセッションしてください。

パケットライトソフトには対応しておりません。

プレイリスト機能には対応しておりません。ファイル名の頭に“01”～“99”などを入力することで、順番を設定できるライティングソフトもあります。

ID3Tag (アイディースリータグ) 機能には対応しておりません。各種情報などが記録されていても表示できません。

使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

ファイル名対応表

ISO 9660 フォーマット	本機が表示できるフォルダ名 / ファイル名
ISO 9660 レベル1	フォルダ名、ファイル名には英・数字をお使いください。推奨 詳しくはライティングソフトの説明書をお読みのうえ、ファイルシステムそれぞれの規格に従って作成してください。 最大31文字まで表示できますが、ファイルシステムによって文字数に制限があります。 小文字は大文字で表示されます。 英・数字のみ表示できます。正しく表示できない文字は「*」で表示されます。 *「Joliet」は、最大15文字まで表示できます。
ISO 9660 レベル2	
Joliet *	
Romeo	
ISO 9660 アップル拡張	

ファイル/フォルダ数の制限

フォルダの階層数 : 最大8階層

最大ファイル/フォルダ数 : 254 (ファイル数+フォルダ数、ルートフォルダを含まず)

ファイルとフォルダの合計数が254を超えた場合は、正常に再生できません。

お知らせ

再生できないファイルは「E4」と表示されます。

MP3エンコーダソフト、およびライティングソフトは付属されておりません。

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権利権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。